

「耐震診断判定」、「耐震改修計画評定」「耐震診断判定・耐震改修計画評定」において、留意していただきたい事項などについて、

「委員会申込図書作成の手引き」と「関係書式」を平成 26 年 9 月 5 日に一部改正しました。

一般社団法人 北海道建築士事務所協会
建築物耐震診断等評価委員会

●改正した内容は、つぎの【Ⅰ】と【Ⅱ】のとおりですので、各「委員会申込図書作成の手引き」とダウンロードする「関係書式」を確認し、今後当委員会に判定や評定の申込をされる対象建築物の耐震診断と改修計画に反映してください。

<凡例>・・・「新規」：新たに設けた内容

「追加」：追加した内容

「変更」：変更した内容

【Ⅰ】委員会申込図書作成の手引き<耐震診断判定申込編>

1) (診断様式Ⅰ) 記載例<総括>本概要書の概要・・・「追加」

「1. 建築物概要」～「主な仕上」～「外壁」の欄に記載例として(又はコンクリート打放：増打ち 25 mm)を追記しました。(コンクリート打放仕上げの場合は、増打ちコンクリート厚を記載することを意味します。)

なお、<耐震改修計画評定申込編>及び<耐震診断判定・耐震改修計画評定申込編>も同様

2) (診断様式Ⅰ) 記載例<総括>本概要書の概要・・・「追加」

「1. 建築物概要」～「基礎構造」～「支持形式」の欄に記載例として記載されている(杭基礎)を(杭支持)に変更しました。

なお、<耐震改修計画評定申込編>及び<耐震診断判定・耐震改修計画評定申込編>も同様

3) (診断様式Ⅰ) 記載例<総括>本概要書の概要・・・「変更」

「2. 耐震診断結果」～「その他特記事項」の欄の記載例を(なし)から(CB 外壁の転倒・落下の危険性はない。)に変更しました。

なお、<耐震診断判定・耐震改修計画評定申込編>も同様

4) (共通様式 1) 耐震診断用 諸指標・材料強度・・・「変更」

1. 「耐震診断判定用(改修後)」を「耐震診断判定用(改修時)」に変更しました。

2. 「耐震性能」～「S 造」～「準拠耐震診断基準」の欄の(次診断)の記載を削除しました。

3. 「使用材料」～「鉄筋材種」・「鉄骨材種」の現状診断強度の単位を N/mm²に変更し、改修設計診断強度の単位等の標記は現状診断強度と同一としました。

5) (別記 4) 耐震診断に当たっての留意事項

a) §2 現地調査の概要

・「コンクリートの調査」に(コンクリートの採取(径 100mm 未満のコアの取扱い)を新規に記述・・・「新規」

・「鉄骨の調査」の「溶接」に(超音波探傷試験についての取扱い)を新規に記述・・・「新規」

b) §3 診断方法

・(構造耐震判定指標 Iso 設定時の用途指標 U)について新規に記述・・・「新規」

・「設定条件」～「積雪荷重」に(積雪荷重増に対する長期応力の検討)について

新規に記述・・・「新規」

c) §4 診断結果の概要

・（長スパン鉄骨架構のメカニズム時応力図）について、新規に記述・・・「新規」

d) 別掲の「コンクリート中性化の評価」の（中性化深さ）と（進行予測図と供用期間内の評価）の記述を一部変更・・・「変更」

【Ⅱ】委員会申込図書作成の手引き＜耐震改修計画評価申込編＞

a) §5 改修計画の概要

「改修方法の留意事項」に（鉄筋コンクリート造建物に鉄骨系補強ブレースを採用する場合の取扱いを新規に記述・・・「新規」